

[一般社団法人米沢市医師会, 〒992-0039 山形
県米沢市門東町3-3-17, TEL. 0238(23)0386,

2015年3月, A4判, 図版篇120頁, 解題篇208
頁, 非売品]

書籍紹介

真柳 誠 著 『黄帝医籍研究』

真柳誠氏は現代の中国伝統医学史研究を牽引してきた研究者であり、とりわけ漢字圏の古医籍の研究において多くの成果をあげられている。氏の中国医籍研究書が昨年11月に上梓された。

本書でいう「黄帝医籍」とは、書名に「黄帝内经」を冠する『素問』『針経』『霊枢』『明堂』『難経』『甲乙経』『太素』をいう。いずれの書も中国伝統医学の重要古典であり、特に針灸医学においてはその典拠の根幹をなす書である。

各書の歴史についてはこれまでも研究が重ねられてきたが、未解明の部分も多く残されている。本書では各書の史的問題、すなわち「版本系統が問題の『素問』、伝承史が問題だった唐代までの『九卷』『針経』と宋代以後の『霊枢』、旧態がよくわからない『難経』、成書年代と現存本の来歴が問題だった『甲乙経』、成書も伝承史も不明瞭だった『明堂』『太素』など」について、これまでの真柳氏の研究成果に新出資料を多く取り入れ、書誌学を基本として人文科学諸分野の手法と成果を用いて解決に取り組んでいる。

従来「黄帝医籍」研究を大きく進展させた書であり、今後、中国伝統医学を研究する上では必読の一書である。

内容

序 説 黄帝医籍

第一章 『素問』

第一節 序論

第二節 北宋版

第三節 南宋版

第四節 金版

第五節 元版

第六節 明版

第七節 総括

第二章 『針経』と『霊枢』

第一節 序論

第二節 宋代までの伝承

第三節 北宋・元祐本『針経』

第四節 偽経の『霊枢経』九卷

第五節 南宋・紹興本『霊枢』

第六節 現『霊枢』の諸本

第七節 総括

第三章 『難経』概説

第一節 概要

第二節 成書

第三節 伝承

第四節 版本

第四章 『甲乙経』

第一節 概要

第二節 成書

第三節 伝承

第四節 現存本

第五節 結語

第五章 『太素』

第一節 概要

第二節 成書

第三節 伝承

第四節 現存本

第五節 総括

第六章 『明堂』

第一節 概要

第二節 原『明堂』の成書と旧態

第三節 原『明堂』の孔穴配列と経脈循行の概念

第四節 魏晋・六朝・隋代の伝承・変化および
影響

書名・人名・事項索引

(天野 陽介)

第五節 唐代の『明堂』文献
付 所出文献関連年表
後記

[汲古書院, 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
2-5-4, TEL. 03 (3265) 9764, 2014年11月, A5
判, 640頁, 本体6,000円+税]